

『今回は、山梨県側の富士山世界文化遺産の構成資産について話をしようと思っておったが、数日前、比叡山時報が届いてな、阿闍梨餅のについて詳しく書かれていたんじゃ。修学旅行など京都へ行く機会もあるじゃろうから、阿闍梨餅について話をしようと思うんじゃよ。』

『阿闍梨餅の入り箱には京都切り廻り奉修する阿闍梨様のお姿が描かれているでまっすん。毎年恒例の東円寺の団参で、今年は京都切り廻りの阿闍梨様を八坂神社でお待ちして、お加持を頂戴したでまっすん。感慨深いお姿だったでまっすん。』

『そうだったのう。さて阿闍梨餅は古都京都を代表する老舗京菓子司として全国に名を馳せる「阿闍梨餅本舗 満月」。その看板に冠する「阿闍梨餅」の銘は、比叡山で修行する北嶺千日回峰行者のかぶる蓮華笠を形とったものなんじゃ。』

『けれども、実際には円形で中心がうず高くなって、蓮の葉が開く様子を表す蓮華笠とは違っているでまっすん。』

『よく質問されるそうじゃ。これは、当時、阿闍梨様のお笠を真上から眺めるなんてことは恐れ多いことと考えて、あえて阿闍梨様がお加持をされるお姿を横から見たお笠の様子を表していると言われているんじゃ。つまり、阿闍梨餅は、阿闍梨様への信仰心や畏敬の念が形になったお菓子だということなんじゃよ。』

『創業は江戸末期の安政 3 年（1856）で、初代彌右衛門は滋賀県出身でまっすん。「阿闍梨餅」は、大正期に 2 代目の当主により開発されたでまっすん。満月本店の正面玄関の看板には、上原阿闍梨様の書が掲げられ来客をお迎えしているでまっすん。』

『比叡山時報に、満月の現社長西浦氏が、「私にとって阿闍梨様とは」という質問に、「阿闍梨様は、ただ肉体的に一千日間頑張られた方というだけではなく「頑張る」といったような軽い言葉ではない、私などには想像もできないような世界の方で、軽々しく話してはいけない方、我々の心の拠り所になられる方です。阿闍梨様が覚えておら

れなくても、かけていただいた言葉で救われた人間は何千といえるはず」とな。』

『阿闍梨餅と類似したお菓子が出回るようになった時に、阿闍梨様に相談したそうでまっすん。けれども、「偽物はすぐにあかんようになる。だっまで見といたらええ…」とおっしゃられたそうでまっすん。その言葉に、阿闍梨餅は信仰心から生まれたもの…形だけ真似しても心までは伝わらないことに気付き、以来あまり気にならなくなったという話でまっすん。』

『千日回峰行に入行される方は、師匠や先輩に憧れて修行に入ると聞く。人が人生を賭けるほど憧れる師匠や先輩に出会えることは羨ましいことじゃな。さて、次号こそ、構成資産についての話をしなければのう・・・』 『楽しみにしているでまっすん。』

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん…



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達<sup>せんだつ</sup>  
(先達とは案内責任者)